主な仕様 ※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

定格出力	：120W×2（20Hz～20kHz、0.3%、8Ω、EIAJ）
	240W×1（20Hz～20kHz、0.5%、4Ω、出力並列駆動、EIAJ）
全高調波歪率	：0.1%（1kHz、120W×2、8Ω、EIAJ）
	0.3%（20Hz～20kHz、120W×2、8Ω、EIAJ）
	0.5%（20Hz～20kHz、240W×1、4Ω、出力並列駆動、EIAJ）
周波数特性	：20Hz～20kHz ±0.5dB
クロストーク	：－70dB以下（10kHz）
SN比	：105dB以上（IHF－Aフィルター、入力短絡）
入力感度	：＋4dBs（0dBs＝0.775V）
電圧増幅度	：38.2dB（入力端子～スピーカー出力端子間）
	0dB（入力端子～モニター出力端子間）
入力インピーダンス	：10kΩ（平衡）
ハイパスフィルター（HPF）	：fc＝80Hz、12dB／oct
電源	：AC 100V 50／60Hz
消費電力	：170W（電気用品取締法）
	440W（定格出力 120W×2 出力時）
外形寸法	：482（幅）× 88（高さ）× 396（奥行）mm
質量	：11.5kg
仕上げ	：フロントパネル　:黒色ABS樹脂
	その他　:黒色半艶塗装
付属品	：ラックマウント用スクリュー（M5）....... 4
	ラックマウント補助金具..................... 2
	補助金具取付用スクリュー（M4）.......... 2
	フット 4
	フット取付用スクリュー（M3）............. 4
添付物	：保証書 1
	ビクターサービス窓口案内.................. 1
	取扱説明書 1
	安全上のご注意 1

お客様ご相談センター

東京
☎ (03)5684-9311［代表］
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪
☎ (06)6765-4161［代表］
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor JVC
日本ビクター株式会社
システム事業部
〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話（0426）60-7243［ダイヤルイン］

Victor "HIS MASTER'S VOICE"

パワーアンプ

型名 PS-A1202

取扱説明書

Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

－お買い上げありがとうございます－
ご使用の前にこの「**取扱説明書**」と別冊の「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙50%含有）を使用しています。

このたびは
パワーアンプ
PS-A1202を
お買いあげいただき
ありがとうございます

特長

- ■ 定格出力 120W×2（83Ω）のハイインピーダンス（100Vライン）対応パワーアンプです。
- ■ スイッチの切換により、出力の並列駆動が可能。240W×1(41.5Ω)の出力が得られます。
- ■ 出力トランスレスで高音質を実現しました。
- ■ 動作状態が一目で監視できるシグナル／ピーク インジケーターを装備しています。
- ■ 保護回路も万全
  電源スイッチ ON／OFF時のポップノイズを防ぐミューティング回路、過負荷･出力短絡時にオーバードライブを防ぐASOリミッター、出力DC電圧と異常発熱を検出して出力を遮断する回路を装備しています。
- ■ EIAラックマウントと棚置きの両方に対応できる、着脱可能なマウント金具を装備しています。
- ■ アッテネーターつまみの誤操作を防ぐ保護カバーがついています。

目次

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書（および別冊の「安全上のご注意」）と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や、財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。

⃠記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

⚠警告

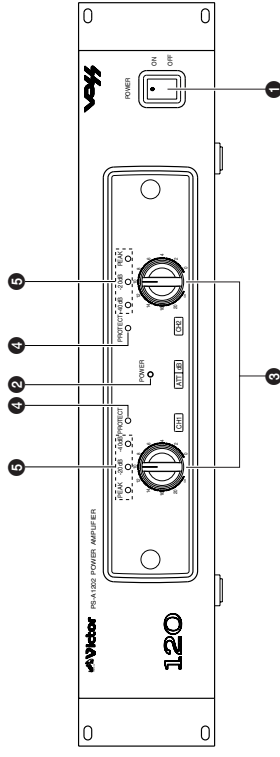
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
  分解禁止
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。ラックに組込むときには、上下1H以上のスペースをとるようにしてください。
- 本機は日本国内専用です。
  必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを電源コードを引っぱらずに、かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- 棚置きでご使用の場合、必ずフットを取り付け、側面に5㎝以上、上面に10㎝以上の隙間を取り、冷却のための空気の流通を良くするようにしてください。ラックマウントする場合は８ページを参照してください。

ご使用上のご注意

- **ミューティング動作について**
  電源を入れてから3~5秒間は音が出ませんが、これはミューティング動作のためで、故障ではありません。
- **電源スイッチの投入について**
  全ての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行ってください。周辺機器と組み合わせてご使用されるときは、本機の電源とパワーアンプを最後にしてください。ノイズなどによるスピーカの破損を防止できます。
- **配線について**
  マイクケーブルを電源線やスピーカー線と一緒に配線しないでください。ハム音やノイズの原因となります。できるだけ離して配線してください。
- **キャビネットの清掃について**
  キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（かそざい）の働きにより変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

フロントパネルの名称とはたらき

❶POWER 電源スイッチ

スイッチを"**ON**"側にすると電源が入ります。
電源を投入すると❷電源表示ランプ（緑）および❹プロテクト表示ランプ（赤）が点灯します。（この状態では、出力が遮断されています。）3～5秒後にプロテクト表示ランプが消灯し、動作状態に入ります。
電源を切る場合には、スイッチを"**OFF**"側にしてください。

❷POWER（緑）電源表示ランプ電源スイッチ

電源スイッチ"**ON**"で点灯します。

❸ATT 入力アッテネーター

入力感度を＋4dBsから可変できます。 ミキサー、プリアンプ等の出力レベルに合わせて調節してください。
（クリックポジション付です。）

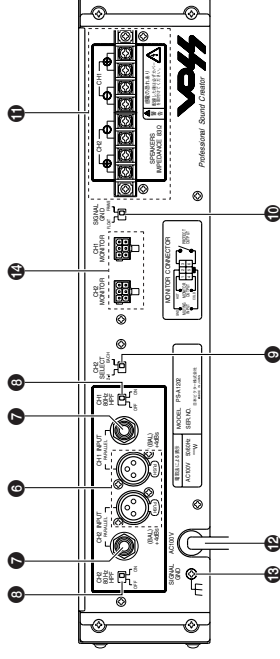
本機のパワーアンプ2チャンネルを出力並列駆動としてご使用のときは、CH1側の入力アッテネータで調節してください。

❹PROTECT（赤）プロテクト表示ランプ

電源スイッチ"**ON**"で点灯し、3～5秒後に消灯して動作状態に入ります。また、保護回路が動作し、出力が遮断された時も点灯します（ミューティング動作）。消灯しない場合は、何らかの異常が考えられますので、一旦電源を切って原因を調べてください。

❺－40dB（緑）－20dB（緑）PEAK（赤）シグナルインジケーター

各チャンネルの信号レベルを表示します。
－40dBのランプは出力が約0.012W、
－20dBのランプは出力が約1.2Wになったときに点灯します。
PEAKのランプは、出力が定格出力の3dB手前にて点灯します。できるだけ点灯しないような状態で、ご使用ください。

リアパネルの名称とはたらき

❻❼ INPUT（BAL）入力端子

CH1・CH2 平衡 ＋ 4dBs 10ｋΩ

❻ キャノンタイプコネクタ（XLR－3－31 相当）
❼ 6.3 φ複式フォノジャック
のうちから入力端子を選べます。

本機を出力並列駆動でご使用になるときは、❾入力チャンネル切換スイッチを"2←1"側に設定して、CH1 側に入力信号を接続してください。
CH2 側へ入力しても動作しません。

❻❼の入力端子は並列接続になっていますので、他のパワーアンプとの入力並列接続端子として使用できます。（7 ページをお読みください）

入力感度変更について
内部スイッチの切換により、入力感度を＋4dBsから＋14dBs（パッド 10dB）に変更できます。お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料にて調整いたします。

❽80HzHPF ハイパスフィルタースイッチ

スピーカーカップリングトランスの低域飽和が発生し、音が悪くなるときはHPFスイッチを"**ON**"にして 80Hz 以下の音声をカットしてください。

❾CH2－SELECT 入力チャンネル切換スイッチ 2←1－EACH

CH1、CH2 入力端子（❻❼）からの信号を、それぞれのチャンネルのスピーカー出力へ送る場合は、このスイッチを"EACH"側に設定してください。
CH1 入力端子からの信号を CH1 と CH2 両チャンネルのスピーカー出力へ送る場合は，このスイッチを"2←1"側に設定してください。出力並列駆動（7 ページをお読みください）でご使用になるときは、このスイッチを"**2←1**"側に設定して、CH1 入力端子に信号を入力してください。

❿SIGNAL GND シグナルグランド切換スイッチ FLOAT－FRAME

シグナルグランドをフレームグランド（筐体）に接続する（FRAME）か、切り離す（FLOAT）かを切換えるスイッチです。通常は"**FRAME**"側に設定してください。

ご注意
● 本機を金属性ラックにマウントする場合に、ラックを経由して他の機器と導通してアースループが発生し、ハムノイズなどが出る場合があります。このような場合は、シグナルグランド切換スイッチを"FLOAT"側にしてくださ。

⓫SPEAKERS スピーカー出力端子

ハイインピーダンススピーカーを接続します。スピーカーの合成インピーダンスを83Ω以上（120W以下）になるようにしてください。
出力並列駆動でご使用になるときはＣＨ1⊕ と CH2⊕、CH1⊖ とCH2⊖ をそれぞれ接続します。このときはスピーカーの合成インピーダンスを41.5Ω以上（240W 以下）にしてください。
（7ページをお読みください）

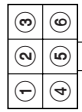
⓬ 電源コード

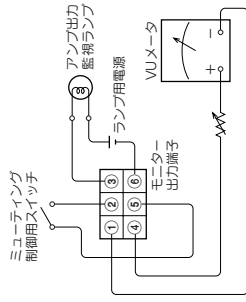
AC100V のコンセントに接続します。

⓭ SIGNAL GND グランド端子

この端子は、オーディオミキサー等を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

⓮ モニター出力端子

(1) ピンの配列と働き

ピン番号	名　称		働　き
④	HOT	モニター出力	定格出力時(負荷83Ω･120W = 42.2dBs)に +4dBs の信号が出力されます。(適合負荷7.5kΩ以上)
①	COLD		
③		タリー出力	出力ミューティングリレーと連動するリレー接点です。保護回路が動作して出力が遮断されている状態("PROTECT" 点灯)のときブレイク(開放)します。(接点容量 DC 30V 2A まで)
⑥			
⑤	MUTING	ミューティング	⑤〜②間をショートすると保護回路が動作して、出力が遮断されます。("PROTECT" が点灯します。)再び⑤〜②間をオープンにすると、3〜5秒後に出力ミューティングは解除されます。("PROTECT" が消灯します。)
②	GND		

(2) 接続例

- 電源が"ON"になってミューティングが解除されるとアンプ出力監視ランプが点灯します。
- 入力信号が加わるとVUメーターが振れます。
- アンプが異常発熱または故障して保護回路が動作し、出力が遮断されるとアンプ出力監視ランプが消灯し、VUメーターも振れません。
- ミューティング制御用スイッチをショートすると保護回路が動作し、出力が遮断されます。

ご注意

- モニター出力端子の接続コネクターは本機に添付されていません。モニター端子を使用する場合にはコネクターワイヤーAss'yを別途購入（サービス品扱い）してください。

品　番	品　名	備　考
SS48294-00A	コネクターワイヤーAss'y	ハウジング、ピン、ワイヤー1m付

尚、コネクターワイヤーAss'yを現地で製作する場合は、下記の部品を用意願います。

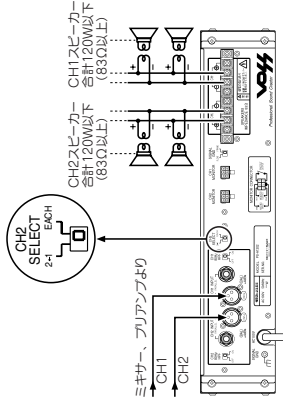
品　番	品　名
モレックス社：5557-06R	ハウジング
モレックス社：5556T	ピン

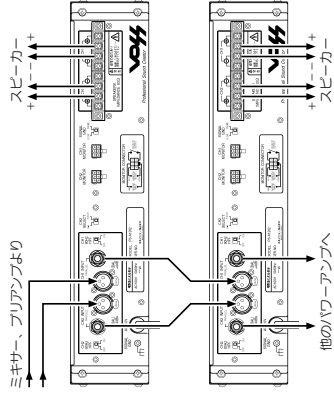
接続のしかた

■ 2CH入力／2CH出力

CH2 SELECT 2-1 EACH

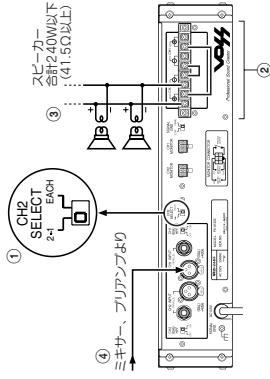
ミキサー、プリアンプより CH1 CH2

CH2スピーカー 合計120W以下 (83Ω以上)　CH1スピーカー 合計120W以下 (83Ω以上)

■ 入力の並列接続

接続可能台数は 10 台です。（ミキサー出力インピーダンス600 Ω時）

■ 出力の並列接続（出力並列駆動）

PS-A1202 1台の中のCH1とCH2のみ出力の並列接続が可能です。

① CH2 SELECT 2-1 EACH　③ スピーカー 合計240W以下 (41.5Ω以上)　④ ミキサー、プリアンプより　②

●手順

① CH2 SELECT スイッチを "2→1" 側にする。

② スピーカー端子のCH1⊕とCH2⊕、CH1⊖とCH2⊖をそれぞれケーブルで接続する。

③ スピーカーを接続する。

④ ミキサー、プリアンプからの信号をCH1に入力する。

ご注意

- スピーカー端子の ⊖ はグランドではありません。モニターアンプなどのグランドを接続しないでください。

■ 接続ケーブル

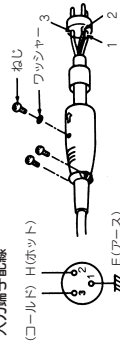
入力コネクターの配線は次のようにしてください。

XLRタイプコネクターの場合

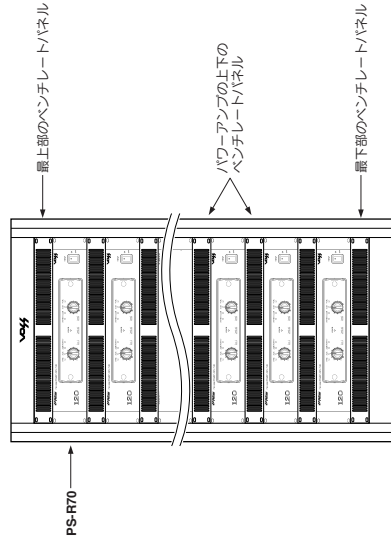
1番：アース
2番：ホット
3番：コールド

6.3φ 複式フォノプラグの場合

スリーブ：アース
チップ　：ホット
リング　：コールド

入力端子配線

接続ケーブルを製作する時は下図を参考にしてください。

ラックへの組み込みについて

● **EIAラック（PS-R70など）に組み込む場合は、放熱効果をよくするためにパワーアンプの上下にベンチレートパネル（PS-RU01V）を取付けてください。**
また、ラックの最上部と最下部にもベンチレートパネルを取付けてください。

⚠注意

● **EIAラック（PS-R70）をご使用される場合は、充分な放熱効果を得るためにファンユニット（PS-R413B）を必ず2台、ラック上面内側に取付けてください。**

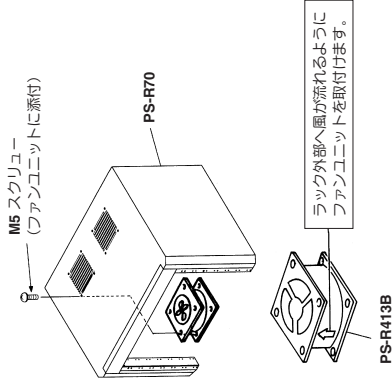
取付け方法は次の手順に従ってください。

① ファンユニットは添付のスクリューでラック上面内側に取付けます。
（ファンユニットの取付けはしっかりと行なってください。ファンユニットとラック上面との間のすきまがありますと騒音を発する恐れがあります。）

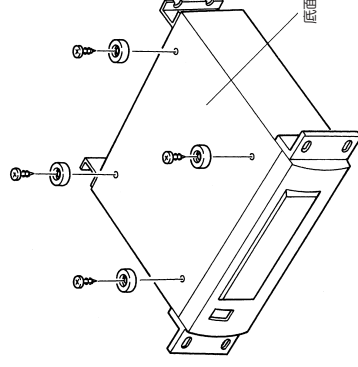
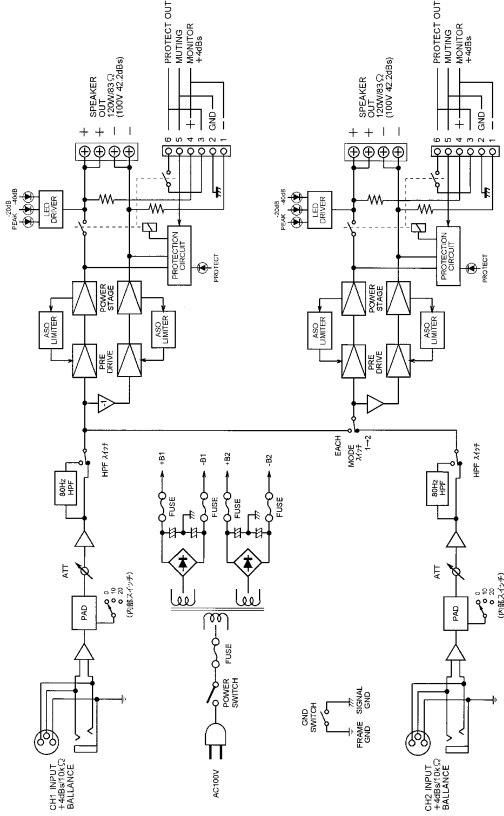
② パワーコードを接続します。
（ファンユニットとパワーコードの接続は差し込み式になっておりますので、十分に差し込んでください。
（差し込みが不十分ですと、ファンユニットの故障の原因になる場合があります。）

● **本機をEIAラック（RS-R70）に組み込む場合は、本機に添付されているラックマウント金具を添付のスクリュー（M4）で取付けた後、組み込みます。**

⚠注意

● システムラック（PS-R30）への組み込みについて
主電源ユニット（PS-P32-B/H）を組み込んだシステムラック（PS-R30）にパワーアンプを組み込む場合は、各々の消費電力の合計が800Wを超えないようにしてください。
本機の組み込み可能な台数は最大４台です。

● フットの取付けについて
パワーアンプを直接カウンターや棚に置いて使用するときは、底面に添付のフットを取付けてください。フットは添付のフット取付スクリューで取付けます。

ブロックダイアグラム

CH1 INPUT +4dBs/10kΩ BALLANCE
PAD
0 10 20 (内部スイッチ)
ATT
80Hz HPF
HPF スイッチ
PRE DRIVE
POWER STAGE
ASO LIMITER
LED DRIVER
PEAK -20dB -40dB
PROTECTION CIRCUIT
PROTECT
SPEAKER OUT 120W/83Ω (100V 42.2dBs)
PROTECT OUT
MUTING
MONITOR +4dBs
GND
AC100V
POWER SWITCH
FUSE
+B1 -B1 +B2 -B2
GND SWITCH
FRAME GND
SIGNAL GND
EACH
MODE スイッチ 1→2
CH2 INPUT +4dBs/10kΩ BALLANCE

外観寸法図 改善のため予告なく変更するときがあります。

単位：mm

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

パワーアンプの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

異常のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	パワーアンプ
型　名	PS-A1202
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

この商品を廃棄する場合は、法令や使用する地域の条例に従って適正に処理してください。
長時間ご使用にならない場合は、省エネルギーのため電源スイッチを切ってください。